

大学番号：私303

注3

[平成24年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

届出

安田女子大学 心理学部

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 安田学園

平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 庶務課長・<sup>キシタ</sup>喜志多 <sup>ヒロシ</sup>宏和

電話番号 082-878-8112

（夜間） 082-878-8112

F A X 082-872-2896

e-mail syomu.box@yasuda-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

心理学部

<心理学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	18
6. 留意事項等に対する履行状況等	37
7. その他全般的事項	41

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 安田学園

## (2) 大学名

安田女子大学

## (3) 大学の位置

〒731-0153  
広島県広島市安佐南区安東六丁目13番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヤスダ ヒロミ) 安田 裕実 (平成20年4月1日)		
学長	(セヤマ トシオ) 瀬山 敏雄 (平成22年4月1日)		
学部長	(カタカミ ソウジ) 片上 宗二 (平成24年4月1日)		
学科長等	(ドウノ ケイコ) 堂野 恵子 (平成24年4月1日)	(イケダ サトコ) 池田 智子 (平成26年4月1日)	平成26年4月1日 人事異動のため変更(26)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
心理学部 心理学科  学士(心理学)	4年	90人	2人 年次人	364人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	90人 ( ) [ ]	人	90人 ( ) [ ]	人	90人 ( 2 ) [ ]	人	90人 ( 2 ) [ ]	人	1.06倍	倍	
志願者数	421 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	323 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	290 ( 1 ) [ ]	— ( ) [ ]	288 ( ) [ ]	— ( ) [ ]			
受験者数	412 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	315 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	275 ( 1 ) [ ]	— ( ) [ ]	279 ( ) [ ]	— ( ) [ ]			
合格者数	206 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	223 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	200 ( 1 ) [ ]	— ( ) [ ]	228 ( ) [ ]	— ( ) [ ]			
B 入学者数	94 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	111 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	87 ( 1 ) [ ]	— ( ) [ ]	91 ( ) [ ]	— ( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A	1.04		1.23		0.96		1.01				

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。  
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] ( - ) 94	[ - ] ( - )	[ - ] ( - ) 111	[ - ] ( - )	[ - ] ( - ) 87	[ - ] ( - )	[ - ] ( - ) 91	[ - ] ( - )	
2年次	/		[ - ] ( - ) 93	[ - ] ( - )	[ - ] ( - ) 111	[ - ] ( - )	[ - ] ( - ) 86	[ - ] ( - )	
3年次			/		[ - ] ( - ) 94	[ - ] ( - )	[ - ] ( - ) 109	[ - ] ( - )	
4年次					/		[ - ] ( - ) 94	[ - ] ( - )	
計			[ - ] ( - ) 94	[ - ] ( - ) 204			[ - ] ( - ) 292	[ - ] ( - ) 380	

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	94 人	1 人	平成24年度	1 人	0 人	進路変更(1人)	1.06 %
			平成25年度	0 人	0 人		
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	111 人	2 人	平成25年度	0 人	0 人		1.80 %
			平成26年度	2 人	0 人	病気療養(1人)、進路変更(1人)	
			平成27年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	87 人	1 人	平成26年度	1 人	0 人	病気療養(1人)	1.15 %
			平成27年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	91 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	383 人	4 人					1.04 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<心理学部 心理学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
特別科目	まほろば教養ゼミⅠ	1	1			6 7	4 2 3	2				専任教員辞任(24) 専任教員辞任(25) 専任教員辞任(26) 専任教員就任(26) 専任教員昇格(26)	
	まほろば教養ゼミⅡ	2	1			6 7	4 2 3	2				専任教員辞任(24) 専任教員辞任(25) 専任教員辞任(26) 専任教員就任(26) 専任教員昇格(26)	
	まほろば教養ゼミⅢ	3	1			6 7	4 2 3	2				専任教員辞任(24) 専任教員辞任(25) 専任教員辞任(26) 専任教員就任(26) 専任教員昇格(26)	
	まほろば教養ゼミⅣ	4	1			6 7	4 2 3	2				専任教員辞任(24) 専任教員辞任(25) 専任教員辞任(26) 専任教員就任(26) 専任教員昇格(26)	
キャリア科目	キャリアデザインⅠ	1前後		2								兼 1	
	キャリアデザインⅡ	2後		2								兼 1	
	ボランティア活動	1・2後		2								兼 1 カリキュラム充実のため科目を追加(24)	
	インターンシップ	3前		2								兼 1 カリキュラム充実のため科目を追加(24)	
	食と職—パティシエ実習	2・3・4後		1								兼 1 カリキュラム充実のため科目を追加(25)	
共通教育科目	人間理解 教養科目	人間論A	1・2・3・4		2								兼 4
		人間論B	1・2・3・4		2		1						兼 2 専任教員辞任(26)
		こころの科学A	1・2・3・4		2		1	1	2 1				兼 1 担当者を追加(25) 専任教員辞任(26)
		こころの科学B	1・2・3・4		2			1	1				兼 1
		からだの科学A	1・2・3・4		2								兼 2
		からだの科学B	1・2・3・4		2								兼 1
		からだの科学C	1・2・3・4		2								兼 1
		人間形成の科学A	1・2・3・4		2								兼 2
		人間形成の科学B	1・2・3・4		2								兼 1
		ことばの世界A	1・2・3・4		2								兼 4
		ことばの世界B	1・2・3・4		2								兼 5
		ことばの世界C	1・2・3・4 前後		2								兼 共通教育科目見直しのため科目を廃止(25)
		日本の文学A	1・2・3・4		2								兼 1
		日本の文学B	1・2・3・4		2								兼 1
		世界の文学A	1・2・3・4		2								兼 1
		世界の文学B	1・2・3・4		2								兼 3
芸術A	1・2・3・4		2								兼 1		
芸術B	1・2・3・4		2								兼 2		
社会理解	現代社会と人間A	1・2・3・4		2								兼 4	
	現代社会と人間B	1・2・3・4		2		1	2					兼 3	
	21世紀の社会と法A(日本国憲法)	1・2・3・4		2								兼 2	
	21世紀の社会と法B	1・2・3・4		2								兼 1	
	21世紀の経済A	1・2・3・4		2								兼 1	
	21世紀の経済B	1・2・3・4		2								兼 2	

教養科目	社会理解	現代のビジネスA	1・2・3・4	2						兼	2	
		現代のビジネスB	1・2・3・4	2						兼	3	
		現代社会と政治A	1・2・3・4	2						兼	1	
		現代社会と政治B	1・2・3・4	2						兼	2	
	国際理解	異文化理解A	1・2・3・4	2						兼	4	
		異文化理解B	1・2・3・4	2						兼	3	
		日本の歴史と文化A	1・2・3・4	2						兼	3	
		日本の歴史と文化B	1・2・3・4	2						兼	5	
		世界の歴史と文化A	1・2・3・4	2						兼	2	
		世界の歴史と文化B	1・2・3・4	2						兼	1	
	科学技術理解	国際協力A	1・2・3・4	2						兼	2	
		国際協力B	1・2・3・4	2						兼	2	
		数学の世界	1・2・3・4	2						兼	1	
		自然科学の世界A	1・2・3・4	2						兼	2	
		自然科学の世界B	1・2・3・4	2						兼	3	
		自然科学の世界C	1・2・3・4	2						兼	4	
		生命の科学A	1・2・3・4	2						兼	4	
		生命の科学B	1・2・3・4	2						兼	5	
		生命の科学C	1・2・3・4	2						兼	2	
		環境の科学A	1・2・3・4	2						兼	1	
環境の科学B		1・2・3・4	2						兼	2		
生活の科学A		1・2・3・4	2						兼	4		
生活の科学B	1・2・3・4	2						兼	2			
生活の科学C	1・2・3・4 前後	2								共通教育科目見直し のため科目を廃止 (25)		
情報の科学	1・2・3・4	2						兼	3			
共通教育科目	基礎科目	情報処理基礎Ⅰ	1前	1						兼	10	
		情報処理基礎Ⅱ	1前	1						兼	10	
		情報処理基礎Ⅲ	1後	1						兼	8	
		情報処理基礎Ⅳ	1後	1						兼	8	
		情報処理演習A	2前	1						兼	3	
		情報処理演習B	2後	1						兼	1	
		情報処理演習C	3前	1						兼	1	
		情報処理演習D	3後	1						兼	1	
	健康スポーツ科目	健康スポーツA	1・2・3・4	1						兼	1	
		健康スポーツB	1・2・3・4前	1						兼	5	
		健康スポーツC	1・2・3・4後	1						兼	4	
		健康スポーツD	1・2・3・4後	1						兼	1	
		野外活動	1・2・3・4前	2						兼	1	
	外国語科目	英語リーディングⅠ	2前	1						兼	2	
		英語リーディングⅡ	2後	1						兼	2	
		英語ライティングⅠ	2前	1						兼	1	
		英語ライティングⅡ	2後	1						兼	3	
		英語コミュニケーションⅠ	1前	1						兼	23	
		英語コミュニケーションⅡ	1前	1						兼	21	
	基礎科目	英語コミュニケーションⅢ	1後	1						兼	18	
英語コミュニケーションⅣ		1後	1						兼	18		
フランス語コミュニケーションⅠ		1前	1						兼	2		
フランス語コミュニケーションⅡ		1後	1						兼	2		
フランス語コミュニケーションⅢ		2前	1						兼	1		
フランス語コミュニケーションⅣ		2後	1						兼	1		
中国語コミュニケーションⅠ		1前	1						兼	5		
中国語コミュニケーションⅡ		1後	1						兼	5		
中国語コミュニケーションⅢ	2前	1						兼	6			
中国語コミュニケーションⅣ	2後	1						兼	6			



共通教育科目	アメリカ文化語学演習 イギリス文化語学演習 ニュージーランド文化語学演習 中国文化語学演習	1・2・3後 1・2・3前	2	2							共通教育科目見直しのため科目を廃止(26)
		基礎国語演習	1前	1					兼	2	
		基礎社会演習	1前	1					兼	1	
		基礎数学演習	1後	1					兼	2	
	基礎養成科目	基礎理科演習	1後	1					兼	1	
		基礎生物演習	1前	1					兼	2	
		基礎化学演習	1前	1					兼	2	
		基礎物理演習	1前	1					兼	1	
		心理学概論Ⅰ	1前	2		1					
		心理学概論Ⅱ	1後	2		1					
専門教育科目	基本科目・卒業研究	人間学Ⅰ	1前	2		2+			兼	1	専任教員辞任(26) 専任教員就任(27)
		心理学研究法	1前	2			1	1			専任教員就任(26)
		心理学基礎演習Ⅰ	1後	2		1					
		心理学基礎演習Ⅱ	2前	2		1		1			
		心理学基礎演習Ⅲ	2後	2			1	1			専任教員辞任(25) 専任教員就任(26)
		基礎ゼミ	1前	2		1	3	3			専任教員辞任(25) 専任教員辞任(26) 専任教員就任(26)
		文献講読Ⅰ	2前	1		1	0	2			専任教員辞任(25) 専任教員辞任(26) 専任教員就任(26)
		文献講読Ⅱ	2後	1		1	0	2			専任教員辞任(25) 専任教員辞任(26) 専任教員就任(26)
		文献講読Ⅲ	3・4前	1			1				専任教員辞任 平成26年度開講のため支障なし(25) 専任教員就任(26)
		心理統計法Ⅰ	1後	2			1	1			
	心理統計法Ⅱ	3前	2					2+		専任教員就任(27)	
	教育心理学	2前	2		1						
	経済学概説	3前	2						兼	1	
	法律学概説	3後	2						兼	1	
	卒業研究Ⅰ	3前	1		7	2	4			専任教員辞任(25) 専任教員辞任(26) 専任教員就任(26) 専任教員就任(27)	
	卒業研究Ⅱ	3後	1		7	2	4			専任教員辞任(25) 専任教員辞任(26) 専任教員就任(26) 専任教員就任(27)	
	卒業研究Ⅲ	4前	1		6	2	1			専任教員辞任(24) 専任教員辞任(25) 専任教員辞任(26) 専任教員就任(26)	
	卒業研究Ⅳ	4後	1		6	2	1			専任教員辞任(24) 専任教員辞任(25) 専任教員辞任(26) 専任教員就任(26)	
	卒業論文	4	2		6	2	2			専任教員辞任(25)	
	展開科目	臨床領域	臨床心理学Ⅰ	1前	2		1				
臨床心理学Ⅱ			1後	2				1			
カウンセリング論			2・3・4後	2			1				
心理療法			3・4前	2		1					専任教員就任(26)
行動療法			3・4後	2			2				
心理検査法			3・4後	2			1				専任教員辞任 平成26年度開講のため支障なし(25)
生理心理学			2後	2						兼	1
精神医学			3前	2						兼	1
家族心理学			3・4後	2		1					

専門教育科目	展開科目	健康心理学 教育相談の理論と方法 障害者心理学 臨床心理学演習	2・3・4後 3後	2		1			兼 1	専任教員就任(26)		
			2	1								
			3・4後	2	1							
			3前	2		1	0			専任教員辞任(26)		
		発達・教育領域	発達心理学Ⅰ	1後	2		1					
			発達心理学Ⅱ	2・3・4前 3・4前	2		1		0		兼 1	専任教員辞任(26)
			発達心理学Ⅲ	2前	2		1					
			学習心理学	2前	2		1					
			認知心理学	2・3・4後 2後	2		1		1			専任教員就任(26)
			人格心理学Ⅰ	2後	2		1					
			人格心理学Ⅱ	3・4前	2		1	1				専任教員就任(26)
			教育心理学特別講義	3・4前	2						兼 1	
			非行の心理	3・4前	2						兼 1	
			高齢者心理学	3・4後	2						兼 1	
		発達臨床演習	3後	2		1		1			専任教員就任(26)	
		社会・人間領域	社会心理学Ⅰ	2前	2				2			専任教員就任(27)
			社会心理学Ⅱ	2・3・4後 3・4前	2				2			専任教員就任(27)
			産業・組織心理学	3・4前	2						兼 1	
			消費行動の心理学	3後	2				2			専任教員辞任(24) 担当者を追加(25) 専任教員就任(27)
			コミュニケーション心理学	3・4前	2			1	1			専任教員就任(26)
			環境心理学	3・4後	2			1				
			犯罪心理学	3・4前	2						兼 1	
			対人関係論	2後	2			1				
			対人関係演習	2後	2			1	0			専任教員辞任、担当 者の変更(26)
			ストレスマネジメント演習	3前	2			1				専任教員辞任 平成 26年度開講のため支 障なし(25)
			色彩・デザインの心理	3・4後	2						兼 1	
			人間学Ⅱ	1・2・3後	2			1				兼 1 専任教員就任、担当 者の追加(26) 専任教員就任(27)
倫理学Ⅰ	2前		2			1				兼 1 専任教員就任、担当 者の追加(26) 専任教員就任(27)		
倫理学Ⅱ	2・3・4後		2			1				兼 1 専任教員就任、担当 者の追加(26) 専任教員就任(27)		
臨床社会学	2・3・4前		2						兼 1			
社会福祉論	3・4前	2						兼 1				
異文化理解	3・4後	2				1			兼 1 専任教員就任(27)			
関連領域	地理学	1前	2			1			兼 4			
	日本史概説	1後	2						兼 1			
	世界史概説	2前	2		1							
	政治学概説	2前	2						兼 1			
	地誌	2後	2						兼 1			
	地域文化論	3前	2			1			兼 4			

(注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上

で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し

修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。

・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)

・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可

以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 20	科目 143	科目 0	科目 163	科目 20	科目 143	科目 0	科目 163	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

(注) ・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、届出時の計画に記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

- ・資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	ことばの世界C	2	1・2・3・4	一般	選択	共通教育の見直しにより廃止。
2	生活の科学C	2	1・2・3・4	一般	選択	共通教育の見直しにより廃止。
3	イギリス文化語学演習	2	1・2・3・4	一般	選択	共通教育の見直しにより廃止。

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

カリキュラムを充実させるため共通教育科目を見直したことにより, 平成24年度に2科目追加, 平成25年度に1科目追加, 2科目廃止している。このため総科目数は増加している。  
 ことばの世界Cを廃止しているが, ことばの世界A, Bがあること, 生活の科学Cを廃止しているが, 生活の科学A, Bがあることからカリキュラムとしての支障はないと考える。  
 以上から授業科目を廃止したことによる学生への影響はないと考える。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\phantom{0.01}} \quad 0.01$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	m <sup>2</sup>	106,555 106,765 104,835 104,855 m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	106,555 106,765 104,835 104,855 m <sup>2</sup>	安田女子短期大学と 共用 教育用土地として活用 できるようになったこと および用途変更のため (24)		
	運動場用地	m <sup>2</sup>	24,106 m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	24,106 m <sup>2</sup>			
	小 計	m <sup>2</sup>	130,661 130,871 128,941 128,961 m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	130,661 130,871 128,941 128,961 m <sup>2</sup>	校地の合筆、分筆、地 積更生等により修正が 必要となったため (25)		
	そ の 他	m <sup>2</sup>	4,082 4,101 3,106 2,927 3,755 m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	4,082 4,101 3,106 2,927 3,755 m <sup>2</sup>	校舎敷地面積見直しと 地籍更生等により修正 が必要になったため (26)		
	合 計	m <sup>2</sup>	134,743 134,972 132,047 131,888 m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	134,743 134,972 132,047 131,888 m <sup>2</sup>			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	安田女子短期大学と 共用 福利厚生用施設の追加 のため(24) 校舎建て替えのため (25) 校舎建て替えのため (26) 校舎建て替えのため (27)		
		m <sup>2</sup>	76,823.29 82,433.95 70,253.37 72,668.68 72,562.28 m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	76,823.29 82,433.95 70,253.37 72,668.68 72,562.28 m <sup>2</sup>			
		( m <sup>2</sup> )	( 72,562.28 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 72,562.28 m <sup>2</sup> )			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 教室の整備・用途変更 のため(24) 校舎建て替えのため (25) 校舎建て替えのため (26) 校舎建て替えのため (27)	
		61 80 68 73 74室	14 13 12 13 14室	143 141 129 138 122室	4 6 8室 (補助職員 8人)	3室 (補助職員 1人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		教員数の変更のため (26) 教員数の変更のため (27)		
		心理学部 心理学科		14 13 12 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体では、図書 294,353冊、265,717冊うち 外国書が54,331冊、430 冊、学術雑誌 2,051冊、844種うち外国 書が281冊、194種ある。 購入による充実のため (26) 大学全体で301,809冊 購入による充実(27)
	心理学部 心理学科	11,777〔2,203〕 (11,777〔2,203〕)	86〔10〕 (86〔10〕)	0〔0〕 (0〔0〕)	139 (139)	0 (0)	0 (0)	
	計	11,777〔2,203〕 (11,777〔2,203〕)	86〔10〕 (86〔10〕)	0〔0〕 (0〔0〕)	139 (139)	0 (0)	0 (0)	
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		4,218 m <sup>2</sup>	450席		330,000冊			
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		1,937 m <sup>2</sup>	テニスコート		弓道場			
(8) 経費の見積り及び	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学科全体
	教員1人当り研究費等	460千円 560千円	460千円 560千円	図書購入費	1,300千円 800千円	1,300千円 800千円	1,300千円 800千円	
	共同研究費等	600千円	600千円	設備購入費	1,300千円 800千円	1,300千円 800千円	1,300千円 800千円	

維持方法 の概要	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	見直しによる修正のため(26) 平成26年度授業料改訂 による変更(27)
		1,270千円 <del>1,230千円</del>	1,040千円 <del>1,020千円</del>	1,020千円	1,020千円 <del>1,000千円</del> <del>1,020千円</del>	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要	各年度の手数料収入、資産運用収入、雑収入等をこれに充当する。						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称		安田女子大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年	設年度	所在地	
大学	年	人	年次	人		倍				
文学部			3年次			1.07				
日本文学科	4	90	1	362	学士(文学)	1.10	昭和41年度			日本文学専攻、書道文化専攻平成23年より学生募集停止
書道学科	4	30	1	122	学士(文学)	0.95	平成23年度			
英語英米文学科	4	110	2	444	学士(文学)	1.08	昭和41年度			英語英米文学科は平成23年度より入学定員120人から110人に減員
児童教育学科	4	—	—	—	学士(文学)	1.03	昭和50年度			児童教育学科は平成24年度より学生募集停止
教育学部			3年次			1.12				
児童教育学科	4	110	10	460	学士(教育学)	1.12	平成24年度		広島市 安佐南区 安東 六丁目 13番 1号	
心理学部			3年次			1.06				
心理学科	4	90	2	364	学士(心理学)	1.06	平成24年度			
現代ビジネス学部			3年次			1.11				
現代ビジネス学科	4	120	2	484	学士(現代ビジネス学)	1.10	平成15年度			現代ビジネス学科は平成24年より110人から120人に増員
国際観光ビジネス学科	4	60	1	60		1.28	平成27年度			
家政学部			3年次			1.04				
生活デザイン学科	4	105	2	424	学士(家政学)	1.10	平成16年度			生活デザイン学科は入学定員平成23年度90人より100人、平成24年度より100人から105人に増員
管理栄養学科	4	120	—	480	学士(家政学)	0.98	平成16年度			管理栄養学科は平成25年度より入学定員80人から120人に増員
薬学部						0.70				
薬学科	6	120	—	720	学士(薬学)	0.70	平成19年度			薬学部薬学科は平成24年度より入学定員130人から120人に減員

看護学部							0.97		
看護学科	4	120	—	240	学士(看護学)	0.97	平成26年度		
大学院									
文学研究科									
博士前期課程							0.58		
日本語学日本文学専攻	2	6	—	12	修士(文学)	0.33	平成6年度		
英語学英米文学専攻	2	6	—	12	修士(文学)	0.66	平成6年度		
教育学専攻	2	18	—	36	修士(文学)	0.63	平成6年度		
博士後期課程							0.03		
日本語学日本文学専攻	3	2	—	6	博士(文学)	0.00	平成8年度		
英語学英米文学専攻	3	2	—	6	博士(文学)	0.16	平成8年度		
教育学専攻	3	5	—	15	博士(文学)	0.00	平成8年度		
家政学研究科									
修士課程							0.33		
健康生活学専攻	2	3	—	6		0.33	平成25年度		
薬学研究科									
博士課程							0.16		
薬学専攻	4	2	—	6		0.16	平成25年度		

大学の名称	安田女子短期大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
保育科	2	150	—	300	短期大学士(保育)	1.02	昭和30年度	
秘書科	2	—	—	100	短期大学士(秘書)	0.92	昭和63年度	平成27年より学生募集停止

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに,



平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
- ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
- ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<心理学部 心理学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授(学部長)	カミツジ 片上宗二 (69)	平成24年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 卒業論文 世界史概説						
専	教授(学科長)	ドウノケイコ 堂野恵子 (67)	平成24年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 基礎ゼミ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 卒業論文 発達心理学Ⅱ 人格心理学Ⅰ 人格心理学Ⅱ	専	教授	ドウノケイコ 堂野恵子 (67)	平成24年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 基礎ゼミ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 卒業論文 発達心理学Ⅱ 人格心理学Ⅰ 人格心理学Ⅱ	平成26年4月 人事異動により変更(26)
専	教授	シミアツホ 清水哲臣 (66)	平成24年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 人間学Ⅰ 人間学Ⅱ 倫理学Ⅰ 倫理学Ⅱ	専	教授	シミアツホ 清水哲臣 (66)	平成24年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 人間学Ⅰ 人間学Ⅱ 倫理学Ⅰ 倫理学Ⅱ 人間論B	平成25年4月 カリキュラム充実のため科目を追加(25) 平成26年3月 一身上の都合により退職 他に担当教員がいるため支障なし(26)
専	教授	フナツモリヒサ 船津守久 (64)	平成24年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 現代社会と人間B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 卒業論文 家族心理学 障害者心理学	専	教授	フナツモリヒサ 船津守久 (64)	平成24年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 現代社会と人間B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 卒業論文 家族心理学 障害者心理学 こころの科学B	平成25年4月 カリキュラム充実のため科目を追加(25)
専	教授	フナツモリヒサ 藤沢敏幸 (62)	平成24年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 卒業論文 臨床心理学Ⅰ 心理療法 教育相談の理論と方法	専	教授	フナツモリヒサ 藤沢敏幸 (62)	平成24年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 卒業論文 臨床心理学Ⅰ 心理療法 教育相談の理論と方法 こころの科学B	平成25年4月 カリキュラム充実のため科目を追加(25)

専	教授	ウダサトコ 池田智子 (56)	平成24年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ こころの科学A 心理学概論Ⅰ 心理学概論Ⅱ 心理学基礎演習Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 卒業論文 学習心理学 認知心理学 教育心理学	専	教授 (学科長)	ウダサトコ 池田智子 (56)	平成24年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ こころの科学A 心理学概論Ⅰ 心理学概論Ⅱ 心理学基礎演習Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 卒業論文 学習心理学 認知心理学 教育心理学	平成26年4月 学科長就任 (26)
専	教授	ウダヒデミ 澤田英三 (51)	平成24年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 心理学基礎演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 卒業論文 発達心理学Ⅰ 発達臨床演習						
専	准教授	オノマサコ 奥野雅子 (52)	平成24年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ こころの科学B 心理学基礎演習Ⅲ 基礎ゼミ 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ 文献講読Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 卒業論文 心理検査法 ストレスマネジメント演習						平成25年3月 一身上の都合により退職。担当科目は他に担当教員がいるため、又は平成26年度以降開講のため支障なし (25)
専	准教授	ニシマユミ 西まゆみ (48)	平成24年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 現代社会と人間B 心理学基礎演習Ⅲ 基礎ゼミ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 卒業論文 カウンセリング論 臨床心理学演習	専	准教授	ニシマユミ 西まゆみ (48)	平成24年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 現代社会と人間B 心理学基礎演習Ⅲ 基礎ゼミ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 卒業論文 カウンセリング論 臨床心理学演習 対人関係演習	平成26年4月 退職者の後任として科目の追加 (26)
専	准教授	ヤマモトフミエ 山本文枝 (45)	平成24年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 現代社会と人間B 基礎ゼミ 心理統計法Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 卒業論文 行動療法 コミュニケーション心理学 環境心理学 対人関係論						

専	講師	コジマユカ 小嶋由香 (33)	平成24年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ こころの科学B 基礎ゼミ 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 卒業論文 臨床心理学Ⅱ 臨床心理学演習 発達臨床演習 対人関係演習	専	講師	コジマユカ 小嶋由香 (33)	平成24年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 基礎ゼミ 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 卒業論文 臨床心理学Ⅱ 臨床心理学演習 発達臨床演習 対人関係演習 こころの科学A	平成25年4月 カリキュラム充実のため科目を変更(25) 平成26年3月 一身上の都合により退職
専	講師	リキモト リュウタロウ 脳本竜太郎 (32)	平成24年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ こころの科学A 心理学研究法 心理学基礎演習Ⅱ 基礎ゼミ 心理統計法Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 卒業論文 社会心理学Ⅰ 社会心理学Ⅱ 消費行動の心理学	専	准教授	ヒライシ カイ 平石界 (38)	平成24年4月	まほろば教養ゼミⅠ こころの科学A 心理学研究法 心理学基礎演習Ⅱ 基礎ゼミ 心理統計法Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 社会心理学Ⅰ 社会心理学Ⅱ 消費行動の心理学 まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ	平成24年3月 脳本講師退職のため担当者変更(24) 平成25年4月 カリキュラム充実のため科目を追加(25) 平成26年4月 准教授に昇格カリキュラム充実のため科目を追加(26) 平成27年3月 一身上の都合により退職(27)
					専	講師	ニシムラ アイオ 西村聡生 (34)	平成25年9月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ コミュニケーション心理学 基礎ゼミ 心理学基礎演習Ⅲ 心理統計法Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 認知心理学 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ こころの科学A	平成25年9月 新規採用平成26年4月 カリキュラム充実のために担当者を追加(26)
					専	准教授	フジハラ ユウヤ 藤原裕弥 (38)	平成26年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 健康心理学 基礎ゼミ 文献講読Ⅲ ストレスマネジメント演習 行動療法 心理学研究法 人格心理学Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ こころの科学A	平成26年4月 カリキュラム充実のために担当者を追加(26)
					専	講師	ニシカワ キョウコ 西川京子 (39)	平成26年4月	まほろば教養ゼミⅠ まほろば教養ゼミⅡ まほろば教養ゼミⅢ まほろば教養ゼミⅣ 基礎ゼミ 地域文化論 地理学 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ 社会科教育法Ⅱ(地歴分野) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業論文 日本の歴史と文化A	平成26年4月 カリキュラム充実のために担当者を追加(26)

					専	教授	ヤマウチ ヒロカ 山内 廣隆 (66)	平成27年4月	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ 人間論A 人間論B 倫理学Ⅰ 倫理学Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	平成27年4月 カリキュラム充実のために担当者を追加 (27)
					専	講師	ハシモト ヒロフミ 橋本 博文 (31)	平成27年4月	こころの科学A まほろば教養ゼミⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心理統計法Ⅱ 消費行動の心理学 異文化理解 社会心理学Ⅰ 社会心理学Ⅱ	平成26年4月 カリキュラム充実のために担当者を追加 (26)

<共通>

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼担	教授	タナベトシ 田中 秀利 (68)	平成24年4月	キャリアデザインⅠ	兼担	教授	ノムラ ヤスリ 野村 康則 (65)	平成26年4月	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ	職後任の担当者として野村教授が
兼担	教授	ヤマハミツヒロ 山 邊 光 宏 (70)	平成24年4月	人間論A						
兼担	教授	カネオカトシノブ 金 岡 俊 信 (64)	平成24年4月	人間論A	兼担	教授	カネオカトシノブ 金 岡 俊 信 (64)	平成24年4月	人間論A 倫理学Ⅰ 倫理学Ⅱ	平成26年4月 教員の退職により科目を追加(26)
兼担	教授	トモスエヨウウツ 友 末 亮 三 (55)	平成24年4月	からだの科学A 健康スポーツB 健康スポーツC						
兼担	教授	ミヤハラヒロシ 宮 原 裕 (66)	平成24年4月	からだの科学B						
兼担	教授	シゲキサダユキ 茂 木 定 之 (56)	平成24年4月	からだの科学C						平成24年3月 一身上の都合により退職(24)
兼担	教授	イワタカアキ 岩 田 高 明 (57)	平成24年4月	人間形成の科学A						
兼担	教授	フジムラ タケン 藤 村 猛 (55)	平成24年4月	ことばの世界A 日本の文学B						
兼担	教授	ハギノブオ 萩 信 雄 (62)	平成24年4月	世界の文学A						

兼担	教授	タマダ ケンジ 玉田 健二 (63)	平成24年4月	世界の文学B フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ フランス語コミュニケーションⅢ フランス語コミュニケーションⅣ						
兼担	教授	カシマヤスヒコ 加島 康彦 (66)	平成24年4月	世界の文学B						
兼担	教授	アヲムラマサヒサ 栗村 真久 (62)	平成24年4月	芸術A	兼任	講師	アヲムラマサヒサ 栗村 真久 (61)	平成27年4月	芸術A	平成27年4月 人事異動により 兼任講師(27)
兼担	教授	ノブヒロ トモエ 信 廣 友江 (59)	平成24年4月	芸術B						
兼担	教授	カツ ケンイチロウ 勝 健一郎 (70)	平成24年4月	現代社会と人間A						
兼担	教授	モリオカブンセン 森岡 文泉 (56)	平成24年4月	現代社会と人間A 現代社会と人間B 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 中国語コミュニケーションⅢ 中国語コミュニケーションⅣ 中国語文化語学演習 集中						
兼担	教授	ツシ ヒデアリ 辻 秀典 (69)	平成24年4月	21世紀の社会と法A 21世紀の社会と法B 法律学概説						
兼担	教授	トイ カナコ 戸井 佳奈子 (51)	平成24年4月	21世紀の経済A 21世紀の経済B						
兼担	教授	シオサキ ヒデアキ 塩崎 英明 (67)	平成24年4月	現代のビジネスマンB	兼任	教授	タケノチ ユウジ 竹内 雄司 (53)	平成27年4月	現代のビジネスB	平成27年3月塩崎教授退職 により担当者変更(27)
兼担	教授	アオキシユンコ 青木 順子 (55)	平成24年4月	異文化理解B						
兼担	教授	ヤマシタアキヒロ 山下 明博 (51)	平成24年4月	異文化理解B 国際協力A 国際協力B	兼担	教授	ヤマシタアキヒロ 山下 明博 (51)		異文化理解B 国際協力A 国際協力B インターンシップ	平成25年4月 カリキュラム充実のため 科目を追加(25)



兼担	教授	ヤナギハラカズヨシ 柳原五吉 (63)	平成24年4月	環境の科学A						平成24年3月 一身上の都合により退職 他に担当教員がいるため支障なし(24)
兼担	教授	クスノキ ミキエ 楠 幹江 (63)	平成24年4月	生活の科学A						
兼担	教授	トリイ ヨウコ 鳥井葉子 (57)	平成24年4月	生活の科学A						
兼担	教授	カネホリ イロウ 金堀 一郎 (64)	平成24年4月	生活の科学B						平成24年3月 一身上の都合により退職 他に担当教員がいるため支障なし(24)
兼担	教授	オオシタ イチコ 大下 市子 (57)	平成24年4月	生活の科学B						
兼担	教授	オリモト コウイチ 折本 浩一 (58)	平成24年4月	健康スポーツA 健康スポーツD 集中 野外活動 集中	兼担	教授	オリモト コウイチ 折本 浩一 (58)	平成24年4月	健康スポーツA 健康スポーツD 集中 野外活動 集中 ボランティア活動	平成25年4月 カリキュラム充実のため科目を追加(25)
兼担	准教授	ニシカワ ヒロコ 西川 ひろ子 (46)	平成24年4月	人間形成の科学B						
兼担	准教授	カギシ カツミ 川岸 克己 (47)	平成24年4月	ことばの世界A ニュー・ラット文化語学演習						
兼担	准教授	タキナツネ オ 滝浪 常雄 (52)	平成24年4月	ことばの世界A	兼担	准教授	タキナツネ オ 滝浪 常雄 (52)	平成24年4月	ことばの世界A 人間論A	平成26年4月 カリキュラム充実のため科目を追加(26) 平成27年3月 一身上の都合により退職。他に担当教員がいるため支障なし(27)
兼担	准教授	タナベ ナオコ 田辺 尚子 (53)	平成24年4月	ことばの世界B	兼担	准教授	タナベ ナオコ 田辺 尚子 (53)	平成24年4月	ことばの世界B 異文化理解A 現代社会と人間A	平成25年4月 カリキュラム充実のため科目を追加(25) 平成26年4月 カリキュラム充実のため科目を追加(26)
兼担	准教授	ヒラモト サトシ 平本 哲嗣 (43)	平成24年4月	ことばの世界B	兼担	准教授	ヒラモト サトシ 平本 哲嗣 (43)	平成24年4月	ことばの世界B 現代社会と人間B	平成26年4月 カリキュラム充実のため科目を追加(26)
兼担	准教授	ミヤケ ヒデアキ 三宅 英文 (48)	平成24年4月	ことばの世界B	兼担	准教授	ミヤケ ヒデアキ 三宅 英文 (48)	平成24年4月	ことばの世界B 現代社会と人間A	平成25年4月 カリキュラム充実のため科目を追加(25)
兼担	准教授	タニグチ ケニヘコ 谷口 邦彦 (51)	平成24年4月	芸術B						
兼担	准教授	マツフジケンジロウ 松藤 賢二郎 (38)	平成24年4月	現代のビジネスB						平成25年3月 一身上の都合により退職 他に担当教員がいるため支障なし(25)
兼担	准教授	ハマモト サトコ 濱本 サト子 (55)	平成24年4月	異文化理解A						
兼担	准教授	ウチダゲイセイイチ 内田 誠一 (52)	平成24年4月	日本の歴史と文化B						
兼担	准教授	ユサワ サトシ 湯澤 聡 (52)	平成24年4月	日本の歴史と文化B						平成26年3月 一身上の都合により退職 他に担当教員がいるため支障なし(26)
兼担	准教授	ミヤギシ テツヤ 宮岸 哲也 (48)	平成24年4月	世界の歴史と文化A						
兼担	准教授	ニシハラ アキフミ 西原 明史 (46)	平成24年4月	世界の歴史と文化A 世界の歴史と文化B						
兼担	准教授	カヅラ マサシ 桂 昌司 (48)	平成24年4月	生命の科学B						平成25年5月 一身上の都合により退職 他に担当教員がいるため支障なし(26)
兼担	准教授	ミヤカワ ヒロエ 宮川 博恵 (42)	平成24年4月	生活の科学A						



兼担	准教授	ニシムラ リヒサ 西村 則久 (43)	平成24年4月	情報の科学 情報処理演習A						
兼担	准教授	タムラ ソウイチロウ 田村 聡一郎 (52)	平成24年4月	情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ 情報処理基礎Ⅲ 情報処理基礎Ⅳ	兼担	教授	タムラ ソウイチロウ 田村 聡一郎 (52)		情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ 情報処理基礎Ⅲ 情報処理基礎Ⅳ	平成25年4月 教授に昇格 (25)
兼担	准教授	ヤシロトシノブ 八城 年伸 (46)	平成24年4月	情報処理基礎Ⅱ 情報処理基礎Ⅲ 情報処理演習A	兼担	准教授	ヤシロトシノブ 八城 年伸 (46)		情報処理基礎Ⅱ 情報処理基礎Ⅲ 情報処理演習A 情報の科学	平成25年4月 カリキュラム充実のため科目を追加(25)
兼担	准教授	ガブリエリ リチャード Gabbrielli Richard (45)	平成24年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	兼担	准教授	ガブリエリ リチャード Gabbrielli Richard (45)		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 異文化理解A	平成25年4月 カリキュラム充実のため科目を追加(25)
兼担	講師	カノウチ アキヒロ 河内 昭浩 (43)	平成24年4月	ことばの世界A	兼担	准教授	カノウチ アキヒロ 河内 昭浩 (43)	平成24年4月	ことばの世界A	平成26年4月 准教授に昇格(26) 平成27年3月 一身上の都合により退職。他に担当教員がいるため支障なし(27)
兼担	講師	タカギ ヒサシ 高木 久史 (38)	平成24年4月	日本の歴史と文化A 日本史概説	兼担	准教授	タカギ ヒサシ 高木 久史 (38)	平成24年4月	日本の歴史と文化A 日本史概説	平成26年4月 准教授に昇格(26)
兼担	講師	ニシカワ キョウコ 西川 京子 (39)	平成24年4月	日本の歴史と文化A	専	講師	ニシカワ キョウコ 西川 京子 (39)	平成24年4月	日本の歴史と文化A	平成26年4月 専任講師に変更(26)
兼担	講師	モリモチ エ 森本 千恵 (50)	平成24年4月	自然科学の世界C						平成24年3月 一身上の都合により退職。他に担当教員がいるため支障なし(24)
兼担	講師	イナガキ マサヲ 稲垣 昌宣 (46)	平成24年4月	自然科学の世界C	兼担	准教授	イナガキ マサヲ 稲垣 昌宣 (46)	平成24年4月	自然科学の世界C	平成25年4月 准教授に昇格 (25)
兼担	講師	タマイ サチエ 玉井 幸恵 (54)	平成24年4月	生命の科学A	兼担	准教授	タマイ サチエ 玉井 幸恵 (53)	平成27年4月	生命の科学A	平成27年4月 准教授に昇格(27)
兼担	講師	ニシムラ モトヒロ 西村 基弘 (50)	平成24年4月	生命の科学B	兼担	准教授	ニシムラ モトヒロ 西村 基弘 (50)	平成24年4月	生命の科学B	平成25年4月 教授に昇格 (25)
兼担	講師	オガワ マリ 小川 麻里 (40)	平成24年4月	環境の科学B						
兼担	講師	ヤギ ヒデアキ 八木 秀文 (44)	平成24年4月	環境の科学B	兼担	准教授	ヤギ ヒデアキ 八木 秀文 (44)	平成24年4月	環境の科学B	平成26年4月 准教授に昇格(26)
兼担	講師	アサノ チェ 浅野 千恵 (46)	平成24年4月	生活の科学A						平成27年3月 一身上の都合により退職。他に担当教員がいるため支障なし(27)

兼担	講師	ジョン マクレーン John McLean (36)	平成24年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション III 英語コミュニケーション IV イギリス文化語学演習 集中	兼担	准教授	ジョン マクレーン John McLean (36)	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション III 英語コミュニケーション IV イギリス文化語学演習 集中	平成26年4月 准教授に昇格(26)
兼担	講師	タラスアレキサンダーサク Taras Alexander Sak (40)	平成24年4月	英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション IV	兼担	准教授	タラスアレキサンダーサク Taras Alexander Sak (40)	英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション IV 世界の文学B	平成25年4月 カリキュラム充実のため科目を変更(25) 平成26年4月 准教授に昇格(26)
兼担	講師	ジャーマン ウォルシュ ジョイ Jarman-Walsh Joy (43)	平成24年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション III 英語コミュニケーション IV					
兼担	助教	サトウ ユウイチロウ 佐藤 雄一郎 (38)	平成24年4月	基礎化学演習					
兼担	助教	フシムラ カヨ 藤村 香予 (44)	平成25年4月	英語リーディング I 英語リーディング II					平成26年3月 一身上の都合により退職 他に担当教員がいるため支障なし(26)
兼担	助教	センホウ コキコ 先坊 幸子 (37)	平成24年4月	中国語コミュニケーション I 中国語コミュニケーション II 中国語コミュニケーション III 中国語コミュニケーション IV					
兼任	講師	オオシタ エイゴウ 大下 英蔵 (63)	平成25年9月	キャリアデザイン I					
兼任	講師	ナカヤマ マサル 中山 愈 (72)	平成24年4月	人間論B					
兼任	講師	ミウラ アキラ 三浦 朗 (51)	平成24年4月	からだの科学A					
兼任	講師	ミヤケ シゲノリ 三宅 重徳 (72)	平成24年4月	ことばの世界B					平成25年3月 一身上の都合により退職 他に担当教員がいるため支障なし(25)
兼任	講師	キノ シヅコ 橋野 実子 (47)	平成24年4月	ことばの世界C					平成25年3月 一身上の都合により退職 教育課程表を変更(科目なし)のため支障なし(25)
兼任	講師	アサオ テツゾウ 浅尾 哲三 (61)	平成24年4月	日本の文学A 日本の歴史と文化B					
兼任	講師	オオトモ タツヤ 大友 達也 (45)	平成24年4月	現代社会と人間A					

兼任	講師	タチバナ チカ 立花知加 (45)	平成24年4月	現代社会と人間B	兼任 兼任	准教授 講師	タチバナ チカ 立花知加 (44)	平成27年4月	現代社会と人間 B 現代のビジネス A	平成25年4月 カリキュラム 充実のため科目を追加 (25) 平成27年4月 人事異動により 兼任准教授 (27)
兼任	講師	オカダ タカヨシ 岡田高嘉 (34)	平成24年4月	21世紀の社会と法A(日本国憲法)						
兼任	講師	ニイ カズヒロ 仁井和彦 (65)	平成24年4月	21世紀の経済B	兼任 兼任	教授 講師	ニイ カズヒロ 仁井和彦 (64)	平成27年4月	21世紀の経済B	平成27年4月 人事異動により 兼任教授 (27)
兼任	講師	ヤマノ ヒデコ 山野秀子 (61)	平成24年4月	現代のビジネスA						
兼任	講師	トクナガ サイコ 徳永彩子 (36)	平成24年4月	現代のビジネスA						平成25年3月 一身上の都合により 退職 他に担当教員がいるため支 障なし(25)
兼任	講師	ナガセ ツオ 長瀬徹郎 (70)	平成24年4月	現代のビジネスB						平成25年3月 一身上の都合により 退職 他に担当教員がいるため支 障なし(25)
兼任	講師	ハヤシ アケヒロ 林 明博 (70)	平成24年4月	現代社会と政治A  現代社会と政治B						
兼任	講師	ヤマモト ヨシオ 山本義雄 (71)	平成24年4月	生命の科学C						
兼任	講師	キタニ ヤスユキ 記谷康之 (41)	平成24年4月	情報処理基礎 I  情報処理基礎 II  情報処理基礎 III  情報処理基礎 IV						
兼任	講師	ヒラハヤシ キョウコ 平林今日子 (37)	平成24年4月	情報処理基礎 I  情報処理基礎 II  情報処理基礎 III						
兼任	講師	クハラ(マスタ)リョウコ 栗原(升田)涼 子 (31)	平成24年4月	情報処理基礎 I  情報処理基礎 II  情報処理基礎 III						
兼任	講師	カワノ リユキ 川野徳幸 (46)	平成24年4月	情報処理基礎 I  情報処理基礎 III						
兼任	講師	ムラタ アキコ 村田昭子 (46)	平成24年4月	情報処理基礎 I  情報処理基礎 II  情報処理基礎 IV						

兼任	講師	コトウユキ 近藤由紀 (42)	平成24年4月	情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ 情報処理基礎Ⅳ						
兼任	講師	ヨシダ ユウゾウ 吉田勇三 (68)	平成24年4月	情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅳ						
兼任	講師	ヨシダ マイ 吉田舞 (35)	平成24年4月	情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅳ						
兼任	講師	ヒナダ ヨウコ 雛田陽子 (38)	平成24年4月	情報処理基礎Ⅱ 情報処理基礎Ⅲ						
兼任	講師	ナカニフミヨ 中谷文代 (45)	平成24年4月	情報処理基礎Ⅱ 情報処理基礎Ⅳ						
兼任	講師	サカグチタクヤ 坂口琢哉 (35)	平成24年4月	情報処理基礎Ⅱ 情報処理基礎Ⅲ	兼任 兼任	准教授 講師	サカグチタクヤ 坂口琢哉 (35)	平成27年4月	情報処理基礎Ⅱ 情報処理基礎Ⅲ	平成27年4月 人事異動により兼任 准教授(27)
兼任	講師	オオツカカヨシ 大塚敬義 (36)	平成24年9月	情報処理基礎Ⅳ						平成27年3月 一身上の都合により 退職 他に担当教員がいるため支 障なし(27)
兼任	講師	クボダイシ 久保大支 (49)	平成25年4月	情報処理演習A 情報処理演習B 情報処理演習C 情報処理演習D						
兼任	講師	イサワマサノリ 入澤雅典 (50)	平成24年4月	健康スポーツB 健康スポーツC						平成26年3月 一身上の都合により 退職 他に担当教員がいるため支 障なし(26)
兼任	講師	ヤマデヒサオ 山出久男 (54)	平成24年4月	健康スポーツB						
兼任	講師	ナガオサトコ 灘尾智子 (50)	平成24年4月	健康スポーツB 健康スポーツC						
兼任	講師	キハラマリ 木原真理 (49)	平成24年4月	健康スポーツB 健康スポーツC						

兼任	講師	ヨシムラチサト 吉村千里 (37)	平成25年4月	英語リーディングⅠ 英語リーディングⅡ 英語ライティングⅠ					
兼任	講師	タツモトエイコ 辰本英子 (36)	平成25年9月	英語ライティングⅡ					
兼任	講師	イマムラオサム 今村修 (47)	平成24年9月	英語ライティングⅡ					
兼任	講師	マコト マクリン M.McLean (40)	平成25年9月	英語ライティングⅡ					
兼任	講師	カーラ ウィルソン C.Wilson (36)	平成24年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ					
兼任	講師	アントリユー ブラッディ A.Brady (37)	平成24年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ					
兼任	講師	カゼミ ケイザン K.Kazemi (36)	平成24年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ					
兼任	講師	デイビッド リー D.Lee. (37)	平成24年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ					
兼任	講師	ブレンダン マクゴワン B.McGowan (46)	平成24年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ					

兼任	講師	デビッド ウィリアムズ D.Williams (38)	平成24年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション III 英語コミュニケーション IV						
兼任	講師	サイモン グレイ S.Gray (31)	平成24年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション III 英語コミュニケーション IV						
兼任	講師	マシュー レーガン M.Ragan (38)	平成24年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション III 英語コミュニケーション IV						
兼任	講師	デビッド スカービング D.Skirving (40)	平成24年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション III 英語コミュニケーション IV						
兼任	講師	ピーターフランクアンジェロ P.F.Angelo (49)	平成24年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション III 英語コミュニケーション IV						
兼任	講師	アンドリュー ライトフット A.Lightfoot (45)	平成24年4月	英語コミュニケーション I						
兼任	講師	C.タカグチ C.Takaguchi (62)	平成24年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション III						
兼任	講師	クレグ ノールズ C.Noels (42)	平成24年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II						

兼任	講師	ダニエル マコート D.McCourt (46)	平成24年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション IV						
兼任	講師	フローレンス ノブコ スミス F.Smith (40)	平成24年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション III 英語コミュニケーション IV						
兼任	講師	ジョン コール J.Cole (47)	平成24年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション III 英語コミュニケーション IV						
兼任	講師	ローナ ナカシマ L.Nakashima (41)	平成24年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II						
兼任	講師	リサダイアンクワトルバーム L.Quattlebaum (42)	平成24年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション III						
兼任	講師	マークハートウィリアムズ M.Williams (47)	平成24年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション III 英語コミュニケーション IV						
兼任	講師	グレゴリ デイロン G. Dillon (47)	平成24年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション III						
兼任	講師	シャーロットルイスナカモト C.Nakamoto (41)	平成24年4月	英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション IV						
兼任	講師	オガサリテ ヨウコ 小笠原 洋子 (70)	平成24年4月	フランス語コミュニケーション I フランス語コミュニケーション II						

兼任	講師	スエ ヨシトシヒサ 末 霞 敏 久 (40)	平成24年4月	中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 中国語コミュニケーションⅢ 中国語コミュニケーションⅣ						
兼任	講師	モリ ナカ ミキ 森 中 美 樹 (45)	平成24年4月	中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 中国語コミュニケーションⅢ 中国語コミュニケーションⅣ						
兼任	講師	リュウ エイ 劉 穎 (37)	平成24年4月	中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 中国語コミュニケーションⅢ 中国語コミュニケーションⅣ						
兼任	講師	ナカキ アイ 中 木 愛 (34)	平成25年4月	中国語コミュニケーションⅢ 中国語コミュニケーションⅣ						
兼任	講師	ミシマ サチエ 三 島 幸 枝 (65)	平成24年4月	基礎国語演習						
兼任	講師	スミスミコ 鷺 見 澄 子 (68)	平成24年4月	基礎国語演習						
兼任	講師	シイノキ カツヒコ 椎 木 克 彦 (71)	平成24年4月	基礎社会演習						
兼任	講師	オオホ マサル 大久保 勝 (66)	平成24年4月	基礎数学演習						
兼任	講師	ササキ マユミ 佐々木 真弓 (54)	平成24年4月	基礎生物演習						
兼任	講師	ハヤシ アツフ 林 篤 伸 (60)	平成24年4月	基礎生物演習						
兼任	講師	ドウノ サトシ 堂 野 佐 俊 (70)	平成25年9月	生理心理学						
兼任	講師	ヨシムラトモリ 吉 村 朋 範 (46)	平成26年4月	精神医学						
兼任	講師	ヨシムラ シンペイ 吉 村 晋 平 (32)	平成25年9月	健康心理学						
兼任	講師	ナカムラ リョウ 中 村 涼 (44)	平成26年4月	発達心理学Ⅲ						
兼任	講師	カワセ ケイコ 川 瀬 啓 子 (71)	平成26年4月	教育心理学特別講義						
兼任	講師	シンタカ ヒロアキ 新 宅 博 明 (70)	平成26年4月	非行の心理						
兼任	講師	アラタニ ヨウコ 荒 谷 容 子 (57)	平成26年4月	高齢者心理学						



兼任	講師	フルカワヒサカ 古川久敬 (67)	平成26年4月	産業・組織心理学						
兼任	講師	ヒラ シンジ 平 伸二 (53)	平成26年4月	犯罪心理学						
兼任	講師	ダイコクユウジロウ 大黒雄二郎 (66)	平成26年9月	色彩・デザイン心理						
兼任	講師	カワノヤヨイ 河野弥生 (46)	平成25年4月	臨床社会学						
兼任	講師	ホソバ(オチ)アユミ 細場(越智)あゆみ (37)	平成26年4月	社会福祉論						
兼任	講師	キン ファンガク 金 文学 (52)	平成26年9月	異文化理解						
兼任	講師	マエダ シュンジ 前田俊二 (64)	平成24年4月	地理学						
兼任	講師	ハタ ヒロト 畑 浩人 (46)	平成25年4月	政治学概説						
兼任	講師	ユイ ヨシチ 由井義通 (53)	平成25年4月	地誌 地域文化論						
兼任	講師	ヤノシュンジ 矢野順治 (61)	平成26年4月	経済学概説						
					兼任	准教授	ハタイ ジュンイチ 畑井 淳一 (59)	平成25年4月	異文化理解A	平成25年4月 カリキュラム充実のため担当者を追加(25)
					兼任	教授	ササキ ヒデオ 佐々木 英夫 (65)	平成25年4月	からだの科学C	平成25年4月 カリキュラム充実のため担当者を追加(25)
					兼任	教授	モリ カリ フカ 森川 千鶴子 (65)	平成25年4月	現代社会と人間B	平成25年4月 カリキュラム充実のため担当者を追加(25)
					兼任	教授	タムラ リコ 田村 典子 (65)	平成25年4月	人間論A	平成25年4月 カリキュラム充実のため担当者を追加(25)
					兼任	教授	カダ キヨシ 高田 清 (65)	平成25年4月	人間形成の科学A	平成25年4月 カリキュラム充実のため担当者を追加(25)
					兼任	教授	オオツカ ヒデアキ 大塚 英昭 (65)	平成25年4月	自然科学の世界C	平成25年4月 カリキュラム充実のため担当者を追加(25)
					兼任	教授	ニシタ ノブコ 西田 信子 (65)	平成25年4月	生活の科学B	平成25年4月 カリキュラム充実のため担当者を追加(25)
					兼任	准教授	コトノカ シンイチ 近藤 慎一 (43)	平成25年4月	生命の科学A	平成25年4月 カリキュラム充実のため担当者を追加(25)
					兼任	講師	フジノカキ ナツユキ 藤永 芳純 (53)	平成25年4月	人間論A 人間論B 人間学I 人間学II	平成25年4月 カリキュラム充実のため担当者を追加(25)
					兼任	講師	マツヨシ ヒロナ 又吉 弘那 (41)	平成25年4月	異文化理解B	平成25年4月 カリキュラム充実のため担当者を追加(25) 平成25年7月 一身上の都合により退職 ほか担当教員がいるため支障なし(26)

					兼担	教授	フジワ トシキ 藤沢敏幸 (63)	平成25年4月	こころの科学B	平成25年4月 カリキュラム充実 のため担当者を追加(25)
					兼担	教授	カイチアキ 亀井千晃 (68)	平成25年4月	自然科学の世界C	平成25年4月 カリキュラム充実 のため担当者を追加(25)
					兼担	教授	ノカ シンイチ 染岡慎一 (54)	平成25年4月	情報の科学	平成25年4月 カリキュラム充実 のため担当者を追加(25)
					兼担	教授	カトリ トシキ 加藤敏之 (59)	平成25年4月	こころの科学A	平成25年4月 カリキュラム充実 のため担当者を追加(25)
					兼任	講師	カカカスノリ 亀川和典 (53)	平成25年4月	現代社会と政治B	平成25年4月 カリキュラム充実 のため担当者を追加(25)
					兼任	講師	アオ アツヲ 浅尾敦則 (56)	平成25年4月	ことばの世界B	平成25年4月 カリキュラム充実 のため担当者を追加(25)
					兼任	講師	クラシゲ ヒロミ 倉重博史 (64)	平成25年4月	食と職-パティシエ実習	平成25年4月 カリキュラム充実 のため担当者を追加(25)
					兼担	教授	フジワラ イキ 藤原逸樹 (55)	平成26年4月	芸術A	平成26年4月 カリキュラム充実 のため担当者を追加(26)
					兼担	教授	イワリ ヨシコ 井川佳子 (67)	平成26年4月	生活の科学A	平成26年4月 カリキュラム充実 のため担当者を追加(26)
					兼担	教授	ヤマウチ カズアキ 山内一晃 (66)	平成26年4月	生活の科学B	平成26年4月 カリキュラム充実 のため担当者を追加(26)
					兼担	教授	ムラカミ フミノ 村上文代 (66)	平成26年4月	生活の科学B	平成26年4月 カリキュラム充実 のため担当者を追加(26)
					兼担	教授	トミカ ハルアキ 富岡治明 (66)	平成26年4月	生命の科学A	平成26年4月 カリキュラム充実 のため担当者を追加(26)
					兼担	教授	ハコダテ マサユキ 箱田雅之 (58)	平成26年4月	生命の科学B	平成26年4月 カリキュラム充実 のため担当者を追加(26)
					兼担	教授	フジムラ キンゴ 藤村欣吾 (72)	平成26年4月	人間論B	平成26年4月 カリキュラム充実 のため担当者を追加(26)
					兼担	教授	ヨシキ ハルヒコ 吉木晴彦 (57)	平成26年4月	日本の文学B	平成26年4月 カリキュラム充実 のため担当者を追加(26)
					兼担	教授	トクナガ リュウジ 徳永隆治 (63)	平成26年4月	からだの科学A	平成26年4月 カリキュラム充実 のため担当者を追加(26)
					兼担	教授	サキモト ユミ 杉本由美 (57)	平成26年4月	からだの科学B	平成26年4月 カリキュラム充実 のため担当者を追加(26)

					兼担	教授	加 加 田 中 丈 夫 (66)	平成26年4月	からだの科学C	平成26年4月 カリキュラム充実のため担当者を追加(26)
					兼担	講師	加 ア 唯 田 中 亜 路 (38)	平成26年4月	自然科学の世界B	平成26年4月 カリキュラム充実のため担当者を追加(26)
					兼担 兼任	講師	トキウ ヨシテル 時 任 芳 昭 (64)	平成27年4月 平成26年4月	インターンシップ	平成26年4月 カリキュラム充実のため科目を追加(26) 平成27年4月 人事異動により 兼担講師(27)
					兼担 兼任	准教授 講師	モンデン キョウ 門 田 恭 子 (52)	平成27年4月 平成26年4月	現代のビジネスA	平成26年4月 カリキュラム充実のため科目を追加(26) 平成27年4月 人事異動により 兼担講師(27)
					兼任	講師	タハラ ナキ 田 原 直 樹 (48)	平成26年4月	現代社会と政治B	平成26年4月 カリキュラム充実のため担当者を追加(26)
					兼任	講師	トウカイ ウサギモリナオカ 東 海 右 左 衛 門 直 柄 (40)	平成26年4月	現代社会と政治B	平成26年4月 カリキュラム充実のため担当者を追加(26)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、**全学共通**、**学部共通**などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成27年5月1日現在の満年齢**を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

## (2) 専任教員数

設置時の計画					更 状 況					年 齢 構 成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講 師	助 教	計	教授	准教授	講 師	助 教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
7	3	2	0	12	7	3	3	1	14	教授63歳 准教授・講師60歳	5	教授63歳 准教授・講師60歳	3
( 7 )	( 3 )	( 2 )	( 0 )	( 12 )	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 1 ]	[ 2 ]		名		名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)  
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	講師	脇本 竜太郎	平成24年3月 一身上の都合による辞任（24）
2	准教授	奥野 雅子	平成25年3月 一身上の都合による辞任（25）
3	教授	清水 哲臣	平成26年3月 一身上の都合による辞任（26）
4	講師	小嶋 由香	平成26年3月 一身上の都合（広島大学へ）による辞任（26）
5	准教授	平石 界	平成27年3月 一身上の都合による辞任（27）

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(1) ~ (5) 辞任に伴う開設授業科目は、他の教員が授業科目を担当することから、学生の履修等への影響はないと考えている。学生への周知については、履修手続のガイダンス等で担当者の変更等について説明している。

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画	
設置計画履行状況 調 査 時 (24年2月)	・家政学部生活デザイン学科の入学定員超過の是正に努めること。	改善意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度からは入学定員を5人増やし（薬学部入学定員減の一部を充当）、入学定員105とした。平成24年度の入学者は110名であり、入学定員超過率は大幅に減少した。(24)</li> <li>・平成25年2月の設置計画履行状況調査時の留意事項が同内容のため、以下参照(25)</li> </ul>	・対応中
	・薬学部薬学科の定員充足率が0.7未満と なっていることから、 学生確保に努めると ともに、今後の定員の 在り方について検討す ること	改善意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学定員を見直し、平成24年度から120名（△10人）とした。引き続き学生確保に努めていきたい。(24)</li> <li>・平成25年2月の設置計画履行状況調査時の留意事項が同内容のため、以下参照(25)</li> </ul>	
設置計画履行状況 調 査 時 (25年2月)	・家政学部生活デザイン学科の入学定員超過の是正に努めること。	改善意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度から、当該学科の入学定員を前年度より5名増やし（薬学部入学定員減の一部を充当）、入学定員105名とした。平成25年度の入学者は、120名であった。入学定員超過率は1.14、平均入学定員超過率は1.22となり、平成24年度の平均入学定員超過率1.32に比べ減少した。(25)</li> </ul>	・平成24年度に入学定員105名（前年度より5名増）とし、入学定員超過率の是正に努めた。平成25年度以降も、引き続き入学定員超過率の是正に努める。(25) 是正した。(26)
	・薬学部薬学科の定員充足率が0.7未満と なっていることから、 学生確保に努めると ともに、今後の定員の 在り方について検討す ること	改善意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学定員を見直し、平成24年度から120名（前年度より10名減）とした。平成24年度の入学定員充足率は0.58となった。（前年度より5%増）</li> <li>平成24年度入試の志願者数246名、合格者数182名、入学者数70名に対し、平成25年度入試の志願者数532名、合格者数330名、入学者数103名で入学定員充足率は0.85と大幅に増加していることから、学生の確保に成果が出てきたことがうかがえる。</li> <li>引き続き学生確保に努める。(25)</li> </ul>	高校等へのPR訪問、高校への出張講義、学外試験場の増設、各種宣伝、ホームページなどの強化を行ってきた。また、専門職員を配置し、高校等へのPRを強化してきた。加えて、特待生制度の導入など、入試制度の改革を行った。今後も引き続き、入学定員の確保に努める。また、平成24年度以降、入学定員を120名（前年度より10名減）とし、入学定員充足率の是正に努める。(25)

<p>設置計画履行状況</p> <p>調査時</p> <p>(26年2月)</p>	<p>・薬学部薬学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>・平成23年度から、入学者のきめ細かい動向分析を行うとともに、広島県内・中国地方はもとより九州方面への広報強化を図るため入試広報部に専門職員を配置し、高等学校等へのPR活動実施している。</p> <p>・平成23年度から、積極的に高等学校等へ模擬授業に出かけるようにした。</p> <p>・平成24年度から入学定員を見直し、130名から120名とした。</p> <p>・平成25年度入学者から特待生制度を導入し、受験生へのアピールを実施した。</p> <p>・平成26年度入試からは、前期一般入試日程を従来のAB日程（2日間）からABC日程（3日間）に変更するとともに、特待生制度枠を増枠し、志願者増を図った。</p> <p>・その結果、ここ最近の入学試験の志願者数は、平成23年度198名、平成24年度246名、平成25年度532名、平成26年度594名となっており、順調に増えている。一方、入学者数は、平成23年度66名、平成24年度70名、平成25年度103名、平成26年度110名（見込み）であり、僅かずつではあるが増えている。</p> <p>・定員充足率は、平成19年度（初年度）は0.4倍であったが前述のとおり学生確保ための努力を継続することにより、平成24年度は0.58倍、平成25年度は0.85倍、平成26年度は0.91倍であり、直近3年間（平成24年度～平成26年度）の定員充足率の平均は、0.78倍である。</p> <p>このように経年的に定員充足率は増加の傾向にあるが、引き続き学生確保に努める。（26）</p>	<p>・今後は、従来の取り組みを継続強化していくとともに、平成25年度に第1期生が卒業したことに伴い、進級率、共用試験・国家試験の合格率、就職率等の実績を広報活動で広くアピールしていき、受験者数、入学者数のさらなる増員を図り、入学定員（120名）の確保に努めていきたい。</p>
---	--	-------------	--	---

<p>改善状況等報告書</p> <p>報告時 (26年2月)</p>	<p>心理学部心理学科において、定年規程（教授63歳、准教授・講師60歳）に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置時に専任教員（12名）のうち定年規程を超える者は4名であり、その割合は34%であった。現在（平成26年3月）はさらに定年規程を超える者が1名増え5名が在職しており、その割合は42%である。平成26年度末で定年規程を超える者が1名退職するが、割合は比較的高い状況のままである。なお、平成25年9月に34歳の教員を採用し、また平成26年4月採用予定として38歳の比較的若い2名の教員を補充する。（26.2）</li> <li>その結果、定年規定を超える専任教員数の割合は、平成26年5月1日現在33%である。（26.5）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、定年規程の趣旨を踏まえつつ、中期的スパンで教育研究の継続性を視野に入れた教員組織となるよう、後任人事等（特例により延長して雇用している教員が一時期に退職しないように配慮しつつ）ではできるだけ若い教員の補充に配慮したい。</li> </ul>
<p>改善状況等報告書 調査時 (27年2月)</p>	<p>薬学部薬学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度から、入学者のきめ細かい動向分析を行うとともに、広島県内・中国地方はもとより九州方面への広報強化を図るため入試広報部に専門職員を配置し、高等学校等へのPR活動実施している。</li> <li>・平成24年度から入学定員を見直し、130名から120名とした。</li> <li>・平成25年度入学者から特待生制度を導入し、受験生へのアピールを実施した。</li> <li>・平成26年度入試からは、前期一般入試日程を従来のAB日程（2日間）からABC日程（3日間）に変更するとともに、特待生制度枠を増枠し、志願者増を図った。</li> <li>・その結果、ここ最近の入学試験の志願者数は、平成23年度198名と比較すると倍以上の平成27年度482名となっており、順調に増えている。一方、直近3年間の入学者数は、平成25年度103名、平成26年度113名、平成27年度96名となった。</li> <li>・平均入学定員超過率は、平成23年度は0.49倍であったが、平成27年度の入試で96名が入学し0.70倍となった。</li> <li>・平成28年度入試からは、Web出願を導入し、利便性を向上させることで、志願者増を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、従来の取り組みを継続強化していくとともに、平成25年度に第1期生が卒業したことに伴い、進級率、共用試験・国家試験の合格率、就職率等の実績を広報活動で広くアピールしていき、平成28年度入試からのWeb出願で利便性を向上させ、受験者数、入学者数のさらなる増員を図り、入学定員（120名）の確保に努めていきたい。</li> </ul>
	<p>心理学部心理学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置時に専任教員（12名）のうち定年規程を超える者は4名であり、その割合は34%であった。現在（平成27年3月）は定年規程を超える者が4名が在職しているが、平成26年4月に、38歳の教員を補充し、平成27年4月採用として、66歳、31歳の教員を補充した。割合は36%となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、定年規程の趣旨を踏まえつつ、中期的スパンで教育研究の継続性を視野に入れた教員組織となるよう後任人事等（特例により延長して雇用している教員が一時期に退職しないよう配慮しつつ）については、できるだけ若い教員で補充したい。</li> </ul>

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。



## 7 その他全般的事項

<心理学部 心理学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 124単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照)
② 施設・設備 a 講義室〇室(〇㎡) b 自習室〇室(〇㎡) c 図書〇〇冊	② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。
該当なし	

- (注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 平成16年度「安田女子大学・安田女子短期大学FD委員会」を設置した。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 平成26年度 1回開催 (但し、学内グループウェアを使用した電子会議は随時開催) 第1回 平成26年5月1日(木)、参加者:23名</p> <p>c 委員会の審議事項等 授業方法の改善について(授業アンケートの実施とそのフィードバック等) FD研修会について 補助金を利用した教育・研究体制等整備事業の活用について 学生調査について</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業方法についての研究活動</li> <li>・ 授業評価アンケート、授業公開</li> <li>・ 新任教員のための研修会</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FD研修会の開催</li> <li>・ アンケート調査等の実施</li> <li>・ オリエンテーションの実施</li> </ul> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成26年度に合計4回のFD研修会を開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回 新任教員向けFD研修会(開催日:平成26年6月19日(木)参加者:43名)</li> <li>第2回 「英語で行う大学の授業」(開催日:平成26年7月3日(木)参加者:128名)</li> <li>第3回 「アクティブラーニング」(開催日:平成26年7月17日(木)参加者:138名)</li> <li>第4回 「学生の学習行動調査結果の分析と活用」(開催日:平成26年10月23日(木)参加者:146名)</li> </ul> </li> <li>・ 学期毎に学生への授業アンケートを実施。結果及び学科長による総評(フィードバック)は学内に公開(掲示)。</li> </ul>
---

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
  - ・大学全体として、FD委員会で教員の資質向上の方策・改善について検討中
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期
    - 前期および後期の授業終了時期（13～15回目の授業時）に原則として大学・短大に開講する全科目を対象に実施。
  - b 教員や学生への公開状況、方法等
    - 常勤教員は、翌学期開始前に担当科目の集計結果をWEBから閲覧。
    - 非常勤講師には、翌学期開始前に担当科目の結果を配付。
    - 学生には、各学科ごとの集計結果に学科長のコメントを付し、翌学期に学内に掲示。
  - c 研究科の授業評価アンケート
    - 研究科は教育・研究、院生の授業・研究の取り組み等について、自由記述を含めたアンケートを実施し、教育・研究の改善に努めている。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
 

地域・社会の強い要望と期待に応えての設置は、非常に意義がある反面、責任と重みを痛感している。今後は、設置の趣旨・目的の達成のため、広い視野と豊かな人間性と倫理観を備え、かつ医療人として質の高い薬剤師の養成を目指して教育を行う。

一方、学生の定員管理を適正に行うための学生確保については、大学全体としてさらに努力する。
- ② 自己点検・評価報告書
  - a 公表（予定）時期
    - ・平成22年4月12日 公表
  - b 公表方法
    - ・大学ホームページ上に公開
- ③ 認証評価を受ける計画
  - ・平成21年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受け、大学基準に適合していると判定された。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
  - a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )
  - b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成27 年 6 月 10 日 )